

第 4 0 回 学 長 選 考 会 議 議 事 要 録

日 時 平成 3 1 年 3 月 2 7 日 (水) 1 3 時 3 0 分～
場 所 愛知教育大学本部棟 3 階第五会議室
出 席 者 委員 8 名 (第 1 号委員：辻村哲夫委員, 松林孝美委員, 松本朋充委員)
(第 2 号委員：野崎浩成委員, 北野浩章委員, 小谷健司委員,
森勇示委員)
(第 3 号委員：中田敏夫委員)

議 事

1. 学長の選考方法について

(1) 規程等について

事務局から、「国立大学法人愛知教育大学学長選考会議規程」, 「国立大学法人愛知教育大学学長選考規程」及び「国立大学法人愛知教育大学学長選考実施細則」の改正について説明があり, 改正内容が確認されるとともに, 意向聴取有資格者に来年度より任用される「園長」及び「助手」の職種を追加すること, 及び事務職員の出向者については本学に勤務する出向受入者に特定して意向聴取有資格者とする事とされた。

次いで, 事務局から, 「国立大学法人愛知教育大学所信を表明する機会の実施要領」, 「国立大学法人愛知教育大学学長候補者意向聴取実施要領」及び「国立大学法人愛知教育大学学長候補者面接実施要領」について説明があり, 所信を表明する機会の持ち時間や面接時間等について意見交換の後, 引き続き検討していく事とされた。

(2) 学長選考の時期及び推薦活動の在り方について

学長選考の時期及び推薦活動の在り方について, 次のような意見が出された。

- ・学長選考の時期は, 本学の年間スケジュール, 夏休み等を踏まえて決定する必要がある。
- ・学長選考に係る学内の推薦活動が国立大学法人の学長選考にふさわしく公正・公平で円滑に行われるよう指針のようなものを事前に周知した方が良いのではないか。
- ・指針をどう示すかはなかなか難しい。良識ある活動を望むといった学長選考会議談話のようなものを出す程度でよいのではないか。
- ・学長選考に係る学内の推薦活動に対して細かい規制をすればするほど, 学長選考会議が意向聴取の結果に拘束されるようなニュアンスが強くなるのではないか。

2. 学長の業績評価について

議長から, 本会議前に, 現学長へ「2 0 1 8 年度における学長の業務執行状況の確認結果について」を手渡した旨報告があった。

3. 次回の開催について

事務局から, 次回の会議は 4 月 2 2 日～5 月 1 0 日に開催予定の経営協議会に合わせて開催したい旨説明が行われ, 了承された。

閉 会 1 4 時 3 0 分